

定住等支援のための住宅団地の整備（鬼北町）

【取組概要】

過疎化・高齢化が進む当町において、町内外からの定住促進を図るために、定住促進団地「ニュータウン鬼北の里」を整備

総面積3.4ha 全66区画

- 第1期 24区画（分譲開始 平成21年～） 完売
- 第2期 22区画（分譲開始 平成22年～） 残り3区画
- 第3期 20区画（分譲開始 平成26年～） 残り9区画

人口 11,025人

担当部署 企画財政課

事業実施期間 20年～26年

取組事例のURL

<http://www.town.kihoku.ehime.jp/soshiki/kikaku/6628.html>



ニュータウン鬼北の里の風景

【取組のポイント(特徴・先進性・特色など)】 【今後の構想や、他団体との連携の可能性】

- ①若い世代が購入しやすいように年代別の割引を設定
 - ・35歳未満 30%割引
 - ・35歳以上45歳未満 20%割引
 - ・45歳以上55歳未満 10%割引
- ②町外の購入者に対する移転支援費
 - ・町外(県内) 10万円
 - ・県外 50万円
- ③住宅に設置する太陽光発電システムに対して補助金を交付
 - ・太陽電池の最大出力値(単位 キロワット)に12万円を乗じて得た金額(上限額50万円)

- 積極的な広報などにより早期の完売を目指す。
- 地球温暖化の防止及びエネルギー自給率向上を目的として、住宅用太陽光発電システムの普及を図るモデル地区として推進する。
- コミュニティづくりのモデル地区として活発な住民活動を喚起する。